

## 平成27年度 地方創生加速化交付金にかかる事業実施結果報告

宮崎県 日向市

No	交付対象事業の名称	事業実施内容	実績額		重要業績指標 (KPI)				本事業終了後における実績値及び事業効果		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について								
			全体事業費	うち交付金額	指標	目標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由							
1	【単独】 日向の波を世界に発信「来て・見て・住んで」観光移住促進強化事業	(1)サーフタウン日向プロモーション事業 全国有数のサーフスポットを有する「サーフタウン日向」の魅力を全国に発信し、認知度を高めるために、マーケティング調査やロゴマーク、動画制作、ホームページ等を制作し、雑誌やインターネット等を通じたクロスメディア発信を行った。  移住セミナー等開催事業 東京、大阪においてサーフィンを目的とした移住セミナーを開催した。 【参加者】大阪(2月) 29組44人 東京(3月) 25組28人  移住定住促進強化事業 一般社団法人日向市観光協会に移住相談窓口を設置し、市と連携し、移住に関する相談業務やお試し滞在施設の運営を行った。  (2)サーフタウン日向 観光振興強化事業 外国人観光客の受け入れ体制の強化を図るため、観光情報ホームページの多言語化や観光案内版等の多言語化を図った。また、今後の観光振興施策に反映するために、GAP調査を実施した。  (3)宿泊施設等改修助成事業 サーファーや外国人旅行者受入のために、宿泊施設の改修等に対する助成を行った。 【対象】市内30客室未満の宿泊施設 【件数】交付件数 10件 【内容】客室トイレ洋式化、浴室リフォーム、クーラー取り付け等  (4)お倉ヶ浜サーフパーク整備事業(ハード) 【実施内容】 お倉ヶ浜ビーチハウスの駐車場を40台増設し、女子トイレ2基を和式から洋式に改修した。	46,012,150	46,000,000	指標	サーフィン等利用客数	220,000	人	H29.3	236,801	地方創生に相当程度効果があった。	KPI達成に有効であった	特になし	追加等更に発展させる	サーフタウン日向プロモーション事業については、国の地方創生推進交付金を活用し、ホームページの英語化や情報発信の強化、都市部での移住相談会を開催する。 平成29年9月末は、ISA世界ジュニアサーフィン選手権が開催され、世界50か国から600人の選手が参加する予定であり、宿泊施設の環境改善により、市内宿泊者の増加が期待できる。 平成29年9月にサーフタウン日向基本構想を策定し、周辺環境の整備やサーフィン愛好者の増加を図る。 日向市観光協会の事務所を拡張し、インバウンド受け入れ体制の強化や機能拡充を図る。 今後、増加が見込まれる外国人旅行者など国内外の観光客にリラックスして滞在していただけるような環境整備や市民のおもてなしの心の醸成を図り、その後に、移住へつながるよう連携した取り組みを推進していきたい。						
2	【連携】 林業を核とした山の暮らしに新たな人呼び込む耳川流域連携強化事業	(1)山の仕事と暮らし情報発信・PR事業 山のしごと、暮らし、人にスポットを当てたホームページを作成した。 機械化・効率化の進む林業現場や林業従事者を中心とした動画を作成した。 フェイスブックを開設し、移住セミナーやワークステイの告知等を行った。  (2)山と暮らし耳川流域移住セミナー等の開催 林業従事者や山で暮らし移住者をゲストスピーカーとして招聘し、大阪・福岡での移住セミナーを開催した。 【参加者】大阪(10月) 5組7名 福岡(11月) 5組5名  (3)山の暮らしワークステイ体験事業 美郷町、諸塚村を中心に2泊3日で実施。林業現場において、実際に地ごしらえや植林、椎茸駒うちを体験した。山の暮らしでは、諸塚神楽の見学やそば打ちなどの体験も行った。現地関係者との交流会を開催し、山の仕事、暮らしなどについて意見交換を行った。  【参加者】17名(県外 10名)	1,600,000	1,400,000	指標	耳川流域圏域での新規林業就業者数		5	人	H29.3						31	地方創生に効果があった。	KPI達成に有効であった	特になし	事業の継続	平成29年度は、一般社団法人地域活性化センターの移住・定住事業の助成制度を活用し、ホームページの充実や山の暮らしワークステイ体験事業、パンフレットの作成を行い、引き続き日向入郷園自治体や林業事業者と連携し、林業担い手確保を推進する。
3	【連携】 みやざき里山新ビジネス創出事業	(1)里山放牧事業 参加する農家等が協力し本地域に適した低コスト放牧技術の確立を行い、共同利用可能な施設を整備することで、個々の経営では効率的でない作業の労働力解消・経費の負担軽減を図りことで繁殖和牛の増頭につなげ、安定した肉用牛繁殖経営を目指す。  【補助金名称】里山放牧推進事業補助金 【交付対象】寺迫和牛放牧組合 【内容】放牧牛導入(5頭)、畜舎の改修、放牧牛運搬車両導入	8,250,000	8,250,000	指標	放牧事業の定着				H29.3							地方創生に効果があった。	KPI達成に有効であった	特になし	事業の継続	耕作放棄地を対象に里山の資源である傾斜地を活かした放牧を実施するための準備を行った。  耕作放棄地解消面積:3.2ha 繁殖雌牛の増頭 導入頭数5頭 放牧地への牛舎整備 3ヶ所
4	【連携】 宮崎県北「ものづくり中小企業」域外展開推進事業	(1)宮崎県北ものづくり中小企業ビジネスマッチングセミナーの開催 行政(二市一町)と民間企業との連携による情報発信とビジネスマッチングに関するセミナーを開催した。  (2)販路開拓支援事業 市外で開催される展示会等へ企業が単独で出展する際の旅費や出展費用等の一部を支援した。  (3)ミャンマーとの経済交流加速化事業 ミャンマーとの経済交流を加速化するため、実施主体である「延岡・ミャンマー友好会」が実施する事業の支援を行った。	1,988,014	1,978,000	指標	新たな販路の開拓や新規の商談等が進んでいる件数		5	件	H29.3	7	地方創生に効果があった。	KPI達成に有効であった	特になし	事業の継続	企業誘致を促進するために宮崎県北地域の立地条件の良さをPRすることや、地元企業の取引機会を拡大するためのビジネスマッチングをサポートしていくことは大変重要と考えている。 自治体等の主催によるセミナーの開催や、県外で開催される展示会・商談会への参加費用を支援することにより、地元企業の積極的な参加を促し、新規取引先の開拓や取引拡大等につなげていきたい。					
5	【連携】 地域連携・官民連携による宮崎版DMO推進事業	(1)神話素材を生かした観光ストーリーの構築 旅行雑誌に日向市の神話に関する観光地情報を掲載した。また、宮崎県内10市町村で神話をテーマにした観光情報ウェブページを制作し、インターネット宿泊予約サイトとリンクさせるなど効果的な観光誘客を図った。 訪日外国人旅行者をターゲットとした日向神話パンフレットの多言語化を図った。  (2)クルーズ市場対策 県等と連携し、平成28年9月21日～26日に中国天津において「チャイナ・クルーズ・ショッピング」へ参加し、会場内ブースにおいて、宮崎県、日向市と連携し各港のPR及び誘致を行った。また、県等と連携し、海外雑誌2社(Cruise Industry News、Seatrade Cruise Review)にPR広告を	2,127,773	2,120,000	指標	神話ゆかりの神社等の観光客数(県全体)	537	万人	H29.3	21	地方創生に効果があった。	KPI達成に有効であった	特になし	事業の継続	次年度も引き続き、県や関係自治体と連携し日向神話を生かした観光ストーリーの構築に取り組み、新たな観光商品の造成や、さまざまな媒体を活用した情報発信を行っていく。 また、細島港へ寄港する海外からの大型クルーズ客船の誘致に取り組み、訪日外国人に対応すべく、市内観光地の案内サイン多言語化やWi-Fi環境の充実に努めていく。						
指標	スポーツ合宿受入団体数(県全体)	1,280	団体	H29.3	22																
指標	Wi-Fiで取得する観光客データ数(県全体)	10,000	人	H29.3	640																
指標	訪日外国人観光入込客数(県全体)	320,000	人	H29.3	13,726																
			59,977,937	59,748,000																	